記入例

様式１

応募申請書

（特別賞（“涼”デザイン建築賞）応募用）

建築主（注１）

住所　〇〇市〇〇町〇番〇号

氏名（注２）　〇〇株式会社　代表取締役　〇〇　〇〇

（注１）建築主が複数の場合は、代表となる建築主以外について別紙に記載してください。

（注２）法人の場合は、名称及び代表者の職・氏名を記載してください。

設計者（注３）

住所　〇〇市〇〇町〇番〇号

氏名（注４）　〇〇設計株式会社一級建築士事務所　〇〇　〇〇

（注３）設計者が複数の場合は、代表となる設計者以外について別紙に記載してください。

（注４）建築士事務所の名称及び開設者の氏名を記載してください。

本賞の応募に関する連絡担当者

会社名、部署名　〇〇設計株式会社　〇〇部　〇〇課

氏名　〇〇　〇〇

電話番号　〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇

メールアドレス　〇〇〇＠〇〇〇．〇〇．〇〇

建築物名称（届出時）　（仮称）〇〇ビル新築工事

建築物名称（正式名称）　〇〇〇ビル

建設地（地番はすべて記入）　〇〇市〇〇町〇〇番、〇〇番〇、〇〇番

用途　事務所、飲食店、診療所

建築面積　〇〇〇．〇〇　㎡　　延べ面積　〇，〇〇〇．〇〇　㎡

敷地面積　〇,〇〇〇．〇〇　㎡　　構造　鉄骨造

階数　地上〇〇階、地下　〇階　　高さ　〇〇．〇〇　m

建築物環境計画書　届出年月日　〇〇年　〇〇月　〇〇日

届出受理番号　〇〇第〇〇－〇〇〇〇号

建築物環境計画書変更届出書　届出年月日*　〇〇年　〇〇月　〇〇日

届出受理番号*　〇〇第〇〇－〇〇〇〇号

（*変更届出をした場合にのみ記入）

建築物工事完了届　工事完了年月日　〇〇年　〇〇月　〇〇日

届出年月日　〇〇年　〇〇月　〇〇日

届出受理番号　〇〇第〇〇－〇〇〇〇号

CASBEE-建築（新築）による評価結果

（評価結果の変更の届出をした場合は、変更後の最終の評価結果を記載してください。）

① CASBEE-新築（建築）のバージョン　〇〇〇〇年版

② 建築物環境効率ランキング（Ｓ、Ａ又はＢ$^{+}$）　Ｂ$^{+}$

③ 建築物の環境効率（BEE 値）　１．４

④ 評価項目「Q3-3.2　敷地内温熱環境の向上」の得点（レベル）　３．０

⑤ 評価項目「LR3-2.2　温熱環境悪化の改善」の得点（レベル）　４．０

⑥ ④及び⑤の得点の平均　３．５

（四捨五入により小数点以下１位までの値に丸めてください。）

⑦ 入力済みの CASBEE-建築（新築）評価ソフト

※最終状態のものを Excel 形式で添付してください。

ヒートアイランド現象の緩和対策等に関する取組内容

文字

・①、②それぞれ 150 字以内で記述してください（箇条書き）。

① 建築物の敷地内の歩行者空間等の暑熱環境を緩和する取組みの主な内容

（CASBEE 評価項目「Q3-3.2　敷地内温熱環境の向上」において評価した取組み）

・敷地内の風の状況を測定し、敷地内の歩行者空間に風を導くよう建物の形状・配置を工夫した。 ・外構に中・高木〇〇本、ピロティ〇〇㎡を設けることにより、水平投影面積率〇〇%を確保し、日陰の形成に努めた。 ・人が出入りできる屋上面の〇〇％、〇〇㎡を緑化し、敷地内歩行空間の暑熱環境を緩和した。

② 建築物の敷地外への熱的な影響を低減する取組みの主な内容

（CASBEE 評価項目「LR3-2.2　温熱環境悪化の改善」において評価した取組み）

・外構に緑地〇〇㎡、中・高木〇〇本を設けることにより、地表面対策面積率〇〇％を確保し、敷地外への熱的な影響を低減した。 ・屋根面〇〇㎡に高日射反射率塗装を施すことにより、屋根面対策面積率〇〇％を確保し、敷地外への熱的な影響を低減した。 ・流体数値シミュレーションにより、敷地外への熱的な影響の低減対策効果を確認した。

図面等

・pdf 形式で添付してください。

① 工事概要

② 全体配置図

③ 各階平面図

④ 立面図

⑤　緑化計画図

⑥　検査済証又は仮使用承認書の写し

写真

・様式２に下表の①～⑦の状況が分かる写真を各１～３枚貼り付け、写真ごとに 50 字以内で説明文を記載してください。

・様式２は写真項目ごとに１枚とし、ファイル名は“youshiki2-2.docx”のように区別してください。

・写真は jpg 形式、大きさ 1024×768 ピクセル以上としてください。

・②～⑦は該当する取組みを行っている場合にのみ添付してください。

・写真では取組内容が説明し難い場合（流体数値シミュレーション等）は、図等を添付してください。

写真項目	関連する CASBEE 評価項目
①　応募建築物の全景	－
②　敷地内歩行者空間や近隣の風下となる地域への風通しへの配慮の状況	Q3-3.2Ⅰ LR3-2.2Ⅱ2)
③　敷地内歩行者空間等における日陰の形成（中・高木、ピロティ等）の状況	Q3-3.2Ⅱ1)
④　地表面における緑地や水面の確保、高反射塗装等の状況	Q3-3.2Ⅲ1) LR3-2.2Ⅱ3）①
⑤　屋上・屋根面の緑化、高反射塗装等の状況	Q3-3.2Ⅳ1) LR3-2.2Ⅱ4）①
⑥　外壁面の材料への配慮（緑化等）の状況	Q3-3.2Ⅳ2) LR3-2.2Ⅱ4）②
⑦　建築設備に伴う排熱による気温上昇抑制の工夫の状況	LR3-2.2Ⅱ5）②

※参考

CASBEE-建築（新築）　評価マニュアル（2016 年版）[PDF ファイル/8.68MB]

（大阪府ホームページにリンクしています。）

http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/2428/00068896/manual_CASBEE-BD_NC_2016.pdf